

# 令和3年11月期（令和3年5月11日～令和3年11月10日）決算短信

令和3年12月17日  
上場取引所 東証

ファンド名 MAXISカーボン・エフィシエント日本株上場投信  
 コード番号 2560  
 連動対象指標 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数  
 主要投資資産 株式  
 売買単位 1口  
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>  
 代表者名 取締役社長 横川 直  
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 笠間 悦男 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和4年2月9日  
 分配金支払開始予定日 令和3年12月17日

## I ファンドの運用状況

### 1. 令和3年11月期の運用状況（令和3年5月11日～令和3年11月10日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和3年11月期	2,606	(98.5)	40	(1.5)	2,647	(100.0)
令和3年5月期	2,030	(98.1)	39	(1.9)	2,069	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和3年11月期	80	56	37	98
令和3年5月期	92	28	41	80

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
令和3年11月期	2,664	17	2,647	26,769
令和3年5月期	2,090	20	2,069	25,853

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
令和3年11月期	153
令和3年5月期	242

### 2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無

## II 財務諸表等

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第3期 [ 令和3年5月10日現在 ]	第4期 [ 令和3年11月10日現在 ]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
コール・ローン	22,647,133	27,673,850
株式	2,030,194,240	2,606,598,620
派生商品評価勘定	704,450	-
未収入金	16,558,030	15,161,152
未収配当金	18,710,300	13,087,393
前払金	-	420,000
差入委託証拠金	1,620,000	1,590,000
流動資産合計	2,090,434,153	2,664,531,015
資産合計	2,090,434,153	2,664,531,015
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	240,550	671,100
前受金	65,000	-
未払収益分配金	19,371,374	15,129,405
未払受託者報酬	253,666	327,038
未払委託者報酬	878,684	1,132,883
未払利息	7	41
その他未払費用	160,057	257,493
流動負債合計	20,969,338	17,517,960
負債合計	20,969,338	17,517,960
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,786,328,852	2,206,717,660
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	283,135,963	440,295,395
(分配準備積立金)	62,422	82,046
元本等合計	2,069,464,815	2,647,013,055
純資産合計	2,069,464,815	2,647,013,055
負債純資産合計	2,090,434,153	2,664,531,015

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第3期		第4期	
	自 令和2年11月11日 至 令和3年5月10日		自 令和3年5月11日 至 令和3年11月10日	
営業収益				
受取配当金	20,656,368		16,877,206	
受取利息	15		63	
有価証券売買等損益	217,156,636		70,076,466	
派生商品取引等損益	2,502,250		1,505,600	
その他収益	903		3,415	
営業収益合計	240,316,172		88,462,750	
営業費用				
支払利息	1,025		3,891	
受託者報酬	253,666		327,038	
委託者報酬	878,684		1,132,883	
その他費用	163,468		267,843	
営業費用合計	1,296,843		1,731,655	
営業利益又は営業損失(△)	239,019,329		86,731,095	
経常利益又は経常損失(△)	239,019,329		86,731,095	
当期純利益又は当期純損失(△)	239,019,329		86,731,095	
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-		-	
期首剰余金又は期首欠損金(△)	29,280,296		283,135,963	
剰余金増加額又は欠損金減少額	71,992,360		231,507,724	
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	71,992,360		231,507,724	
剰余金減少額又は欠損金増加額	37,784,648		145,949,982	
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	37,784,648		145,949,982	
分配金	19,371,374		15,129,405	
期末剰余金又は期末欠損金(△)	283,135,963		440,295,395	

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

## (重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

## (貸借対照表に関する注記)

	第3期 [令和3年5月10日現在]	第4期 [令和3年11月10日現在]
1. 期首元本額	2,073,580,404円	1,786,328,852円
期中追加設定元本額	643,147,120円	1,266,566,896円
期中一部交換元本額	930,398,672円	846,178,088円
2. 受益権の総数	80,047口	98,885口

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第3期 自 令和2年11月11日 至 令和3年5月10日			第4期 自 令和3年5月11日 至 令和3年11月10日		
1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。			1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。		
2. 分配金の計算過程			2. 分配金の計算過程		
項目			項目		
当期配当等収益額	A	20,656,261円	当期配当等収益額	A	16,876,793円
分配準備積立金額	B	73,353円	分配準備積立金額	B	62,422円
配当等収益合計額	C=A+B	20,729,614円	配当等収益合計額	C=A+B	16,939,215円
経費	D	1,295,818円	経費	D	1,727,764円
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	19,433,796円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	15,211,451円
収益分配金金額	F	19,371,374円	収益分配金金額	F	15,129,405円
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	62,422円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	82,046円
当ファンドの期末残存口数	H	80,047口	当ファンドの期末残存口数	H	98,885口
1口当たり分配金額	I=F/H	242円	1口当たり分配金額	I=F/H	153円

## (金融商品に関する注記)

## 1 金融商品の状況に関する事項

区分	第3期 自 令和2年11月11日 至 令和3年5月10日	第4期 自 令和3年5月11日 至 令和3年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性	同左

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>MAXISカーボン・エフィシエント日本株上場投信（2560）令和3年11月期決算短信                  リスクに晒されております。                  当ファンドは、運用の効率化を図るために、株価指数先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。                  また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。                  ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。                  また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	<p>同左</p>
--------------------------	--	-----------

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第3期 [令和3年5月10日現在]	第4期 [令和3年11月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券                      売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引                      デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品                      上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券                      同左</p> <p>(2) デリバティブ取引                      同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品                      同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第3期 [令和3年5月10日現在]	第4期 [令和3年11月10日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
株式	172,184,606	65,321,520
合計	172,184,606	65,321,520

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

第3期 [令和3年5月10日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	38,615,000	—	39,080,000	465,000
合計		38,615,000	—	39,080,000	465,000

第4期 [令和3年11月10日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	40,860,000	—	40,190,000	△670,000
合計		40,860,000	—	40,190,000	△670,000

(注) 時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
  - 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
  - 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- ※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第3期 [令和3年5月10日現在]	第4期 [令和3年11月10日現在]
1口当たり純資産額	25,853円	26,769円